



考えてみませんか？ 自分の出すごみの量

ごみの減量は、環境にもお財布にもやさしい、エコな生活につながります。1カ月に使ったごみ袋の枚数を数えたりして、どれだけごみの減量に取り組めたか調べてみませんか？

**大きな袋で
持ち込まないで！**

環境センターに、刈り草などの一般ごみやその他、プラスチックの資源ごみを直接搬入する際、大型の袋を使用しているケースが増えています。



大型の袋は、機械の故障やつまりの原因となりますので、持ち込むときは70リットル以下の袋を使用してください。

付属品は外そう！

電化製品をごみに出す際、炊飯器に「残飯」、照明器具に「蛍光管」、プリンターに「インクカートリッジ」が残っていることがあります。本体以外のものが残っていると、リサイクル処理に支障がありますので、付属品が残っていないことを確認してから出してください。



**粗大ごみでも
キヤッシュレス決済**

環境センターへ直接搬入する場合や、粗大ごみ収集時の手数料支払いに「スマホ決済アプリ」が利用できます。ぜひご利用ください。
※粗大ごみ収集で「スマホ決済アプリ」の利用を希望する場合は、収集を申し込むときにお伝えください。



**衣類以外は
入れないで！**

衣類のリサイクル用に、市内各所に古着回収ボックスを設置していますが、「靴」「ベルト」「パソコンモニター」など、衣類ではないものが入っているケースが増えています。

対象外のものが混ざり続けると、ボックスを撤去する場合があります。ルールを守り、衣類以外は絶対に入れないでください。



**家庭ごみを
出すときに**

- 新型コロナウイルス感染拡大防止やごみの減量のため、ごみを出すときは、次のことを心がけてください。
- ① 袋の口はしっかりと縛る
↓ごみが散乱せず、作業員の感染防止につながります。
 - ② 袋の空気を抜く
↓収集時の破裂を防止できます。
 - ③ 生ごみは水を切る
↓ごみの量を減らせます。

**一般ごみと
埋蔵量の削減**

皆様のご協力により、令和3年度の一般ごみの量・埋立量がそれぞれ4%削減されました。

- ① 一般ごみ（前年比67トンの減）
令和2年度 ↓ 1828トン
令和3年度 ↓ 1761トン
 - ② 埋立量（前年比80トンの減）
令和2年度 ↓ 1966トン
令和3年度 ↓ 1886トン
- ごみの削減・埋立量の抑制は、処分場が1年でも長く使用できることにつながります。
今後も、ごみの削減に協力をお願いします。